

ユニバス・アワーズで最優秀賞を受賞し喜ぶ八戸学院大ラグビー部の山下ヘッドコーチ(左)と部員たち



人材育成支援 最優秀

ユニバス・アワーズ セミナー評価

ハ 戸

八戸学院大学の男女ラグビー部が、大学

八学大男女ラグビー部

スポーツ協会主催の「UNIVERSITY AWARD S(ユニバス・アワーズ)」で、人間力向上を目的とした部内セミナーの取り組みが評価され、マインビ賞「人材育成支援に関する優秀取組賞」の最優秀賞を受賞した。部員たちはセミナーによってメンタル面で自信を深め、競技だけでなく就職活動にも役立っていると強調。関係者は「学生がセミナーに一生懸命取り組む姿勢が評価された」と受賞を喜んでいる。(千葉真由美)

同部は本年度初めて、男女部 ションプランを決めて実行した員約70人を対象に「デュアルキリする取り組みを行った。ヤリア形成セミナー」を開催。 新年度の男子主将・森竜馬さん(3年)は「セミナーはチームや自分を見つめ直す良い機会になった」と語り、女子部員の鈴木光莉さん(同)は「試合中は自分ができないプレーばかり気にしてネガティブになりがちだったが、『セルフコントロール』の講義を受けてからは自分

の講義を受けてからは自分を褒められるようになり、ポテンシャルが上がったと感じる」と自信を深めていた。

同部の山下祐史ヘッドコーチは「セミナーによって学生たちの意識が高まり、指示されたことを自分事として捉えて行動できるようになった」と成果を語り「来年度もセミナーを続け、チーム力の向上につなげていきたい」と述べた。

ユニバス・アワーズは競技成績のみならず、学業や大学スポーツの盛り上げなどに著しい成果を上げた学生や団体などを表彰する制度。本県関係では、順天堂大陸上部の山口光さん(青森高出)が文武両道を実践し模範となった学生をたたえる「ウーマン・オブ・ザ・イヤー」に入賞した。